

2002.9.11

円卓会議の議題に関する提案—その2

WWF ジャパン 村田幸雄

「化学物質と環境円卓会議」は行政、産業界、学会、市民団体等所属のメンバーからなる非常にユニークな議論の場であり、関連するテーマについての相互理解の場だけに終わらせるにはあまりに惜しいと考えます。とはいえ、第3回円卓会議にわたくしが提案した「環の国化学物質憲章」「環の国ケミカルアジェンダ」のように、今後のあるべき方向を各セクター間の意見を調整しながら一つにとりまとめることには、十分な賛同が得られそうにありません。そこで、改めて本円卓会議を次のように進めることを提案します。

提案： 化学物質と環境の観点から、持続可能な社会のために各セクターが自主的に取り組むべき<行動/約束/宣言/勧告?>をそれぞれのセクターが主体的にとりまとめ、円卓会議として集約し国民に提示する。

ただし、単に各セクターが独自にまとめたものを寄せ集めるのではなく、次のようなプロセスで相互理解を進めながら、あくまで各セクターが自主的にとりまとめる。それらを円卓会議として整理、調整しながら全体をとりまとめ、その結果を広く公表する。

1. 重要なテーマについての理解促進（リスクミ、予防原則?・・・）
2. 各セクターに対する<要望/期待等>を広く募り、内容について議論
3. 各セクターによる<行動/約束/宣言/勧告?>案のとりまとめ
4. 円卓会議としてのとりまとめと公表

以上